

「新・ほっかいどう社会資本整備の重点化方針」有識者検討会の概要

1. 有識者検討会名簿

(五十音順 敬称略)

氏 名	役 職	所 属 ・ 職 名
小 磯 修 二	座 長	北海道大学公共政策大学院客員教授
関 口 麻奈美		プランニング・メッシュ フリーライター
高 橋 清		北見工業大学地域未来デザイン工学科教授
村 上 正 恵		(有) メデル総研取締役
村 上 裕 一		北海道大学公共政策大学院准教授

2. 有識者検討会での主な議論

第1回検討会（令和4年9月9日開催）

- ・ 自然災害の激甚化は大きな課題。気候変動で観測史上初めてが普通になってきており、国土強靱化の必要性がこれまでも増して重要になっている。
- ・ インフラの多目的化・多機能化について、これまでは一つの目的で見てきたものが、多様な役割を果たす時代になってきている。有効活用のためいくつかの目的や機能を意識しながら評価していく必要があるのではないかな。
- ・ 我々の社会を考えていく上で、その背景にある一番大きな問題は人口減少ではないかな。そこに暮らす人々の生活や経済活動を支えるための社会資本整備だが、その前提となる人口が急速に減少する時代を迎えている。人口減少下での社会資本整備政策として重点化とは何か、この部分が重要。

第2回検討会（令和4年11月1日開催）

- ・ 防衛について、今の国際情勢のこの危機的な状況の中で、緊張感を伝えていくことが大事ではないかな。
- ・ 我が国が有事になった場合、首都機能のBCPのような発想で、バックアップ機能としての北海道の役割を強化していくという視点で、社会資本整備を考えていくということは、結果的には平時においては、北海道民にとっても有益なインフラにも繋がっていくことになるのではないかな。
- ・ 防衛という言葉の本編に入れることは難しいが、次の議論に繋いでいくため、議事録ではなく何らかの形で残しておかなければならないのではないかな。
- ・ 多目的・多機能が次の議論に繋がるような、具体的な展開事例があれば良い。
- ・ 本方針をしっかりと推進していくため、実効性を伴うものにしていくことが重要。